

「豊かな海づくり」へ 初出荷！

県種苗生産施設、国東で建替えオープン

最新の機能を備えた県の種苗生産施設が完成し、25日に県漁業公社国東事業場(国東市国東町鶴川)において初出荷式が執り行われた。6年度に本県で開催される「全国豊かな海づくり大会」に向け、栽培漁業推進の核となる施設が始動した。初出荷されたマコガレイは、地元小学生とともに平床漁港においてリレー放流され、海づくり大会に向けた機運も高まった。



(上)完成した「生産棟A」(下)マコガレイ種苗と視察する広瀬知事

3年度に着工した生産棟Aが完成し、本年1月から育成が始まった。閉鎖循環式システムや緑色LED等の最新の技術が取り入れられ、高低差が付けられた水槽間ではサイホンで種苗が移送できるなど省力化も図られた。生産能力も2割アップするとともに、漁業者の要望が強いキジハタ(アコウ)の種苗生産にも取り組むとしている。

初出荷されたマコガレイ2千尾は、国東の旧施設で採卵・ふ化し、日出町の施設で中間育成された後に新施設に戻された幼魚。広瀬知事や中根組合長が

この幼魚はトラックで隣接する平床漁港に運ばれ、「全国豊かな海づくり大会」に向けた第3回リレー放流が行われた。地元小学生と来賓が稚魚を海に放し、海づくり大会に思いを馳せた。遠路水産庁から臨席された廣野淳増殖推進部長からは本県の栽培漁業の一層の推進に期待するとエールを頂いた。

5年度には生産棟B及び屋外水槽も含め全施設が完成し、本格稼働の運びとなる。

マコガレイをリレー放流



(上)主催挨拶をする広瀬知事
(下)来賓挨拶をする廣野部長と中根組合長



濱松委員長(右)に種苗を渡す中根組合長



マコガレイを放流する広瀬知事



リレー放流に参加した小学生たち

JF大分

水産おおいた

発行元
大分県漁協

<http://www.jf-oita.or.jp/>

2 面

5年度
当初予算案

3 面

水研だより



4 面

アイゴ活用



5 面

ベルクで催事



坐来でPR



6 面

サワラ
漁業者協議会

7 面

2月1日付け
辞令交付

令和5年度当初予算案発表

大分県

～知事選を控え骨格予算
農林水産部は526億円を計上～

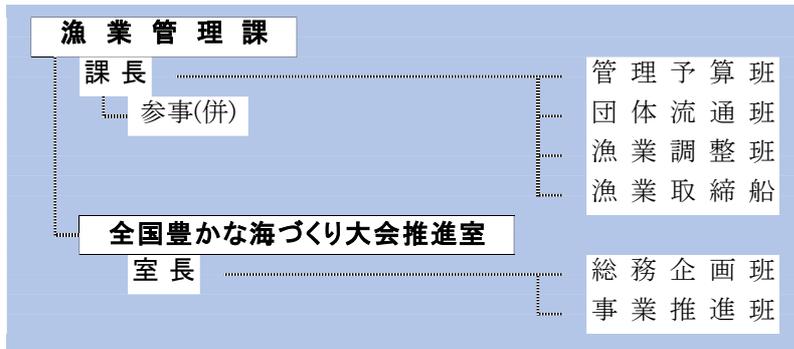
県は13日、広瀬知事が臨時会見を行い、5年度の一般会計当初予算案及び組織改正を発表した。

予算は4月の知事選に配慮し投資的経費を絞った骨格編成となり、総額は対前年5.6%減の6,773億円、うち農林水産部関係は同16.1%減の526億円を計上した。

予算編成の基本方針は、① 人件費等の義務的経費や継続事業を中心とした骨格予算、② 新型コロナウイルス感染症対策や防災・減災対策、子ども子育て支援をはじめ、先端技術等の活用による地域課題解決など社会情勢の変化にあわせた喫緊の政策課題への対応の2点。27日に開会予定の第1回定例県議会に提案される。

安心・活力・発展の施策体系に沿って示された主な水産関係事業は、下の表のとおり。

また、同時に発表された4月1日付けの組織改正では、令和6年秋に開催される第43回全国豊かな海づくり大会の準備の本格化に伴い、漁業管理課の「全国豊かな海づくり大会準備班」を『全国豊かな海づくり大会推進室』に格上げすることが示された。(右図)



事業名	5年度当初予算案 (4年度当初予算)	当初予算案の概要	所管課
1 健やかで心豊かに暮らせる安心の大分県 ⑧強靱な県土づくりと危機管理体制の充実			
緊急自然災害防止対策事業(県単独事業)のうち ・農林水産施設災害防止緊急対策事業	250,000 (250,000)	災害に対して強靱な県土をつくり県民の安全を確保するため、国庫補助事業の対象とならないため池の廃止や、治山・林道・漁港海岸の改修等を実施する。 ・漁港海岸施設の改修 高田海岸(豊後高田市) など	農林水産企画課
2 いきいきと働き地域が輝く活力あふれる大分県 ①挑戦と努力が報われる農林水産業の実現			
【新】 養殖ブリ加工施設整備事業	1,521,609 (0)	増加する加工ニーズに対応し、ブリ類養殖業の経営安定化と成長産業化を図るため、県漁業協同組合が行う養殖ブリの産地加工処理施設の整備を支援する。 ・補助率 5/6(国1/2 県1/6 市1/6)	水産振興課
資源造成型栽培漁業推進事業	73,792 (75,056)	水産資源を早期に回復させるため、漁獲する魚の体長制限の強化など、漁業者が取り組む資源管理の自主規制のレベルに応じて、種苗放流を段階的に支援する。 ・資源管理計画のみ 地元: 県=1:3/4 ・委員会指示及び資源管理計画 地元: 県=1:1 ・委員会指示及び資源管理計画の強化 地元: 県=1:1.1~1.3 【新】デジタルツールを活用した漁獲量報告体制の構築	水産振興課
県産水産物流通拡大推進事業	12,796 (12,097)	県産水産物の流通拡大を図るため、大消費地での販促活動やコロナ禍で増加した内食需要を確実に取り込むための取組を支援する。 ・おおいたの魚パートナーシップ飲食店の設置、フェアの開催 ・対面販売を行う人材の育成や著名人によるメニューの開発 など	漁業管理課
漁業担い手総合対策事業	22,994 (26,040)	意欲ある漁業の担い手を確保・育成するため、漁業学校の研修生や新規就業者に対し給付金を交付する。 ・独立・雇用準備型 150万円/年 1年間 ・独立経営開始型 150万円/年 1年間 ・親元準備型 150万円/年 1年間 ・親元経営開始型 100万円/年 1年間 (対象者は50歳未満) 独立経営を開始する漁船漁業者の初期投資費用に対し助成する。 ・漁業学校修了後に独立経営を開始する際の漁船等購入経費への助成 ・補助率 2/3(県1/3 市町村1/3) など	水産振興課
全国豊かな海づくり大会開催準備事業	58,771 (5,751)	水産資源の保護や、海や河川の環境保全の大切さを国民に訴えるとともに漁業の振興と発展を図るため、令和6年度に本県で開催する第43回全国豊かな海づくり大会に向けた準備を実施する。 ・基本計画等の策定 ・1年前プレイベントの実施	漁業管理課

水 研 だ よ り

ミズクラゲ浮遊幼生調査

北部水産グループ資源増殖チーム 内海訓弘

ミズクラゲの発生に関する知見がほとんどないため、北部水産グループでは、東部振興局と協力して、別府湾でミズクラゲの浮遊幼生(エフィラ、図1)の発生時期と発生場所を把握する調査を行っています。昨年度は別府湾内の7地点(図2)で12~3月にプランクトンネットを曳いてエフィラを採集しました。調査の結果、12月は美濃崎漁港のみでエフィラが採集されました。また、別府湾全地点のエフィラの平均分布密度は1月下旬が最も高く、3月上旬までは比較的高い値で推移しました(表1)。調査期間中は、いずれかの地点でエフィラが出現しましたが、大在公共埠頭のみ期間を通して出現しませんでした。ポリブは浮棧橋等の浮体の裏側によく付着すると言われており、大在公共埠頭の周辺に浮棧橋等がないことがエフィラの出現に影響している可能性も考えられます。

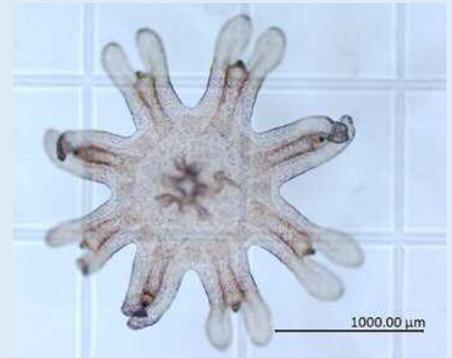


図1 ミズクラゲのエフィラ

今年度も大在公共埠頭を除いた6地点(図2)で12月から調査を始めています。2月上旬までの調査の結果(表1)、今回、12月中にエフィラは出現せず、1月に入ってから出現が確認され始めましたが、別府湾全地点のエフィラの平均分布密度は前年度に比べ高い値で推移しているのが少し気になります。



図2 ミズクラゲ浮遊幼生調査地点

今年度の調査は3月末まで継続しますが、今後もミズクラゲのエフィラに関する知見を収集し、ミズクラゲ発生量の予察等につなげていきたいと考えています。

表1 別府湾ミズクラゲエフィラ分布密度(個体/m3)

調査地点	2021年度								2022年度				
	12月		1月		2月		3月		12月		1月		2月
	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬	中旬	下旬
美濃崎漁港	0.16	0.63	0	0.43	0.31	0	0.25	0	0	0.26	0	0	
大神漁港	0	0.00	1.41	0.16	0.08	0	0.31	0	0	0.30	1.83	4.87	
亀川漁港	0	0.05	0.36	0.21	0.21	0.24	0.03	0	0	0.51	0.51	1.02	
別府観光港	0	0.21	0.63	0.31	0.00	0.21	0	0	0	5.63	4.60	5.12	
住吉泊地	0	0.21	0	0.42	0.10	0.10	0	0	0	1.53	1.02	0.26	
細港	-	-	0	1.67	0.21	1.88	0	0	0	3.81	4.90	2.18	
大在公共埠頭	0	0	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	
別府湾平均	0.01	0.22	0.82	0.61	0.32	0.50	0.12	0	0	1.48	1.81	1.64	

第4号議案では「あわび類、うに類の採捕の禁止について」種苗放流を行った場所を2年間禁漁とする資源管理措置を実施するための公的担保措置として、令和5年4月1日から令和7年3月31日まで放流場所における採捕を禁止とする委員会指示を发出することに決した。

第3号議案では「伊予灘及び豊後水道におけるくるまえびの採捕の禁止について」、激減したくるまえび資源の早急な回復を図るため、引き続き令和5年4月1日から令和6年3月31日まで、全長13cm以下の採捕を禁止とする委員会指示を发出することに決した。

第2号議案では「豊後水道におけるたる流し漁業(立縄釣漁業)の禁止について」、円満な漁場利用を確保するため、引き続き令和5年4月1日から令和6年3月31日まで、全面禁止とする委員会指示を发出することに決した。



海区漁業調整委員会
第16回委員会

16日、県水産会館5階研修室において、第16回大分海区漁業調整委員会が開催された。

第1号議案では、前回委員会において知事の諮問を受けた漁業権の一斉更新に伴う「海区漁場計画の作成について」、異議ない旨を答申することに決した。

「アイゴプロジェクト」進行中！

「アイゴ」は大分県ではバリと呼ばれ、ひれに毒針を持つこともあって、県南で定置網などにかかってもほとんど流通することはなかったが、これを利用していこうという取組が進行している。

日本財団が展開中の「海と日本プロジェクト」のサブプロジェクトである「海のレシピアプロジェクト」において、海藻を食害するアイゴをおいしく食べることで磯焼け対策にもつながる「アイゴプロジェクト」を東京の企業が企画。依頼を受けた米水津の加工業者が、県や県漁協津久見支店の協力を得てアイゴの集荷を進め、昨年の11月には「豊後水道のアイゴの一夜干し」として商品化。マスコミにも取り上げられて注目されている。

昨年の12月21日には、取組の経過を関係者で共有するとともに、今後の進め方について協議するため、佐伯市で打合せ会議が開催され、本店からも関係者が出席した。会議では、取組を進めていくうえで加工時の毒針の除去が課題であること、ほとんどわかっていないアイゴの生態等を調査する必要があるなどの意見が出され、今後も連携して取り組みを進めていくことを確認した。

未利用魚であるアイゴの活用が促進され、漁業者の収入が少しでも増えるとともに、藻場の保全にもつながることが期待される。

【御礼：本稿は大分県南部振興局農山漁村振興部長の大塚猛氏にご寄稿いただきました】



ひれに毒針を持つアイゴ



取組を協議する関係者

産地加工の更なる推進へ

安定的な収益の確保に向け

5年度工事の準備進む

5年度に水産庁、大分県、佐伯市の支援を受けて建設する計画の「水産物加工処理施設」については、本年度の総会議決を経て現在実施設計を進めてきたが、施設内容と整備費用が概ね固まった。

建設に必要な予算は、一般工事（施設上屋・外構等）、その他工事（加工機器類）及び工事管理の3本に分けられる。水産庁

の補助金は、一般工事及び工事管理は水産基盤整備事業（公共）の5年度当初予算、その他工事は水産業強化支援事業（非公共：浜の活力再生・成長促進交付金）の4年度補正予算に計上されている。4年度補正予算は当初に比べ国庫補助率が10%高いことから、理事会での議論も踏まえ要望したもの。

1日には、入津湾地区養殖業成長産業化協議会を開催し、水産基盤整備事業の助成を受けるために必要な「養殖業成長産業化推進基盤整備事業基本計画」を策定した。次いで6日には、県南地区漁



主力商品のプロフィール

業運営委員長会において、実施設計の進捗状況を説明。事業費と収益の見込み、人員体制等について意見を交わし、事業実施に向けた意向を確認した。
5年度の事業実施に際しては、工期の関係から6月末の通常総会前に着工する必要があるため臨時総会（予定）を開き、組合員の承認を得ることとしている。
新加工場による安定的な収益の確保は、早期指導先による改善計画を達成するための重要な骨子であり（150号参照）、組合員理解と協力をお願いしたい。



新加工場ではスキンレスロインなどマーケットが求める高次加工に対応する

毎年恒例となつた「The おおいた オススメキャンペーン」が8日から28日の間、「ベルク」全店で開催された。

「ベルク」は、県が令和2年に「おおいたの魚パートナーシップ量販店」の第1号に認定したスーパーマーケットチェーンで、関東圏に132店舗を展開している。4回目となる今回のキャンペーンでは、「かぼすプリ」などの県産養殖ブリや県産酒を販売し、首都圏での認知度の向上を目指した。これらの商品を含む税込



県産養ブリをPR

み千円以上を購入して応募した方を対象に、県産品が当たるプレゼント企画もあり好評だった。また店内では、県漁協が料



ブリと舞茸の炊き込みごはん

理家の栗原心平さんと共同開発したレシピ「ブリと舞茸の炊き込みごはん」も提案した。

ベルクで

オススメキャンペーン

Belc

パートナーシップ量販店

オススメキャンペーン

レシート有効期間
2023年 2月8日水~2月28日火

対象商品1品以上を含む
1,000円以上

のレシート(合算可)で
応募しよう!

ベルク全店で、期間中に対象商品1品以上を含む合計**1,000円以上**のレシート(合算可)を専用応募用紙に貼付して、必要事項を記入し店舗備え付けの応募箱に投函してください。

応募締切日
2023年 3月1日水 ※閉店時間まで

キャンペーン対象商品はこちら

<p>A賞 5名 (10名様)</p> <p>高級和食料理店 「坐来大分」 ペアお食事券</p>	<p>B賞 10名様</p> <p>「豊後の礎守」 塩水うにバック</p>	<p>C賞 30名様</p> <p>大分県が誇る 佐賀園ブランド</p> <p>関もの豪華 りゅうきゅう セット</p>	<p>D賞 50名様</p> <p>大分県産のかぼす使用 ほん酢セット</p>
---	--	---	--

県は10日、公式アンテナショップ「坐来大分」(東京都千代田区)で、県産食材を集めた提案会を開催した。

県漁協をはじめJA全農おおいた、県畜産公社等の5団体が出展。それぞれの自慢の食材を坐来の料理人が調理し、20名ほどの飲食店関係者に試食してもらい、アピールした。

県漁協からは経済事業部販売課の下郡祥平主任が出席し、「かぼすヒラメ」と「杵築ん鱧」をPRした。「かぼすヒラメ」は刺身で提供し、県特産のカボスを餌に加えて育てることにより、臭みのないさっぱりとした味わいになることを実感してもらった。「杵築ん鱧」は県漁協が産地の杵築加工場で最新の機械で骨切りし、真空凍結状態で出荷していること。消費地で手軽に料理できることを説明し、素揚げで味わってもらった。

県産のブランド水産物は、パートナーシップ量販店でも広く販売されているが、有力な飲食店への拡販も進めたいところ。昨年11月に県が認定した梅丘寿司の美登利総本店に次ぐ「おおいたの魚パートナーシップ飲食店」が誕生する契機となることを望みたい。

坐来

かぼすヒラメ

杵築ん鱧

坐来大分でPR



かぼすヒラメの刺身

杵築ん鱧の素揚げ

おおいた県産魚の日、1月は27日に「ブリ祭り」を、2月は24日に「国東&姫島フェスタ」を開催した。
 1月の「ブリ祭り」では、「かぼすブリ」、「白杵酔いブリ」の養ブリと天然の「関ぶり」を販売した。「かぼすブリ」の認知度が高まってきたこともあり消費者の反応は上々で、試食して購入するお客様が多く見られた。2月の「国東&姫島フェスタ」では、国東のマダコ、武蔵のマダイと姫島のクルマエビを販売し、こちらも好評だった。
 今月をもってOPA店は閉店となるが、県産魚の日を楽しみにする方が多いので、明野、植田のおさかなランド2店舗では引き続き実施することとしている。

令和4年度第2回 サワラ瀬戸内海系群資源管理漁業者協議会 開催

～はなつぎ網によるサゴシの乱獲や遊漁の影響を危惧する声あがる～

5年度の資源管理措置は、現行のとおりとすることとなった。
 委員からは、はなつぎ網によるサゴシの採捕量が明らかではない点を危惧する声や広調委指示の対象に遊漁者を含めるべき等の意見が出された。

2月20日、令和4年度第2回サワラ瀬戸内海系群資源管理漁業者協議会がウエブで開催された。本県からは、漁業者代表委員として日出地区漁業運営委員の北野和貴氏、漁協委員として専務理事が県漁協漁政課の職員とともに水産会館から参加した。
 議事では、前年秋漁の操業状況及び本年度の漁獲管理措置が報告された。
 次いで行われた資源評価結果では、新たな資源診断・将来予測の手法として、MSY(最大維持生産量)を実現する親魚量(SBmsy)と漁獲圧(Fmsy)を選定し、目標管理基準値(SBmsyを採用)、限界管理基準値(MSYの60%の漁獲量が得られる親魚量)及び禁漁水準(MSYの10%の漁獲量が得られる親魚量)を提案し、資源状況の判断と漁獲の仕方の提案を行う、との説明が行われた。4年度の評価結果は下の表のとおり。

2月20日、令和4年度第2回サワラ瀬戸内海系群資源管理漁業者協議会がウエブで開催された。本県からは、漁業者代表委員として日出地区漁業運営委員の北野和貴氏、漁協委員として専務理事が県漁協漁政課の職員とともに水産会館から参加した。
 議事では、前年秋漁の操業状況及び本年度の漁獲管理措置が報告された。
 次いで行われた資源評価結果では、新たな資源診断・将来予測の手法として、MSY(最大維持生産量)を実現する親魚量(SBmsy)と漁獲圧(Fmsy)を選定し、目標管理基準値(SBmsyを採用)、限界管理基準値(MSYの60%の漁獲量が得られる親魚量)及び禁漁水準(MSYの10%の漁獲量が得られる親魚量)を提案し、資源状況の判断と漁獲の仕方の提案を行う、との説明が行われた。4年度の評価結果は下の表のとおり。

現行の資源管理措置を継続へ

目標管理基準値案	限界管理基準値案	禁漁水準案	2021年の親魚量	MSY	2021年の漁獲量
12,900トン	5,700トン	900トン	6,300トン	5,600トン	2,700トン
MSYを実現する親魚量(SBmsy)	MSYの60%の漁獲量が得られる親魚量	MSYの10%の漁獲量が得られる親魚量	-	最大維持生産量	-

2月1日付け

辞令交付



2月1日付けで人事異動が行われ、2名の中堅職員に昇格辞令が交付された。

【本店】経済事業部購買課係長(同主任)黒田美和

【国見支店】販売課課長(同係長)伊藤淳二

また、2名の臨時職員を採用した。

【本店】日出共販所(新採)高松遼河(4年11月1日付)

【豊後高田取次店】総務課(新採)今崎真澄(5年1月25日付)

皆さんのご活躍を祈念します。



サカナを食べれば幸福が見えてくる

ウオメシ

先月は公私ともに旅行先で素晴らしい海鮮料理に出会った。その中から今回ご紹介するのは国東市の麵処錦、「海汐ラーメン」極「1000円也」。

25日に漁業公社で行われた初出荷式に同行した際、お昼に向かった漁協直営店「銀たちの郷」は行列ができる盛況ぶり。嬉しい悲鳴で探したのがここ。鯛のアラ、国東の椎茸で出汁をとり魚介の塩ダレで仕上げたスープはあつさりとしながらコクがあり絶品。ここに自家製鯛の生ハムの炙り、国東のハモ、レアな鶏チャーシューや国東のきくらげ、穂先メンマ、そしてたっぷり野菜を贅沢にトッピング。ヘルシーかつ満足の逸品だった。

編集後記
時節は選挙モード一色に染まろうとしている。県漁協も、理事会の同意を得て候補を推薦し、集会等に参加することもある。土曜、日曜の行事も多く、多忙になる。ただし、この紙面では、政治には触れないことにしている。読者の皆さんの思想信条は様々と思うからだ。

先日、私も知事候補予定者の決意を聞く機会があった。演説の大半を占めたコロナ対策や子育て支援の実績は高く評価されるものであった。ただ、一次産業の関係者も多数集う中で、農林水産業について触れたのは「大葉」と「りゅうきゅう」二言だけであった。地方が戦えるのか不安になった。

送りつけ商法

頼んでいない商品を突然送ってくる

注文してないけど...
請求書

不明な品物は受け取らない!

だまされない!

点検商法

「無料で点検する」などと訪問し高額な工事契約をさせる

今すぐ工事が必要です

大変...

その場では絶対契約しない!

催眠商法

「景品をプレゼント」などと言って会場に人を集めた後、言葉巧みに高額な商品を売りつける

「先着順」「無料」「お得」につられてつい...

どうしよう...

その場の雰囲気にならず冷静な判断を!

悪質商法にご用心

かたり商法

業者がまぎらわしい服装や説明で公的機関の者と思わせ不安をおおるなどして高額な商品を契約させる

設置義務があります

そうなの...

不審に感じたら公的機関に確認を!

おかしいな? 1人で悩まず まず相談

大分県消費生活センター ☎097-534-0999
警察総合相談 ☎#9110

(この項目は県漁業管理課の要請を受けて掲載しています)